

# HPE StoreEasyストレージ

ファイルサーバーに最適な5つの理由



# HPE StoreEasyストレージ ファイルサーバーに最適な5つの理由

かんたんにファイルが共有できて便利なことからファイルサーバーの導入が増えています。ファイルサーバーならどれでも同じ、安いものの方がお得でよいのでしょうか。いえ、そんなことはありません。最初の製品選択で、その後の費用や苦労は大きく変わってきます。以下のような悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか？

- ハードディスクが最近よく故障するなあ…修理代がやけに高いし、自分で交換しないと
- ファイルがどんどん増えて容量が足りなくなってきた…なんか最近ファイルを開くのも時間がかかるし
- 故障したらどうしよう…バックアップとっていないし
- ファイルのセキュリティは大丈夫かな…どうやって管理すればよいのか
- 営業所と支社にそれぞれ必要なんだけどユーザー数も違うし…どれを選べばいいんだろう

そんな悩みをお持ちの方にお勧めしたいのが HPE StoreEasyストレージです。HPE StoreEasyストレージは、HPE ProLiantサーバーのプラットフォームをベースに、NAS専用OSであるWindows Storage Serverを採用したファイルサーバー製品です。他の製品と異なるHPEならではのメリットも加わり「かゆいところに手が届く」製品になっています。

## HPE StoreEasyがファイルサーバーに最適な5つの理由

### ① 高信頼、安心のサポート

HPE ProLiant譲りのプラットフォームは圧倒的な実績と共に充実のサポートで安心

### ② ファイルサーバー専用Windowsで多くのメリット

CAL無制限でコストに優しく、最新バージョンは高性能かつ使いやすい

### ③ バックアップもバッチリ

共有ファイルは大事な財産 - 豊富なバックアップソフトが使いデータをしっかり保護

### ④ かんたん導入、あんしん運用

すぐに使えて、ユーザーやセキュリティもきっちり管理

### ⑤ 豊富なラインアップであらゆるニーズに対応

事務所や拠点のエントリーモデルから企業全体の統合環境まで

初めてのファイルサーバー導入で不安をお感じの方も、現在お使いのファイルサーバーでお悩みの方も、HPE StoreEasyストレージが、そのような課題にお応えします。5つのポイントについて、次ページ以降で、詳細をご説明します。

# ① 高信頼、安心のサポート

HPE ProLiant譲りのプラットフォームは圧倒的な実績と共に充実のサポートで安心

機器が故障したり、メーカーのサポートが不十分で困っていませんか。安心して使えるかどうかは、製品選択で最も重要なポイントの一つです。StoreEasyなら優れた信頼性と手厚いサポートで安心してご利用いただけます。

長年にわたる実績

標準保証3年

充実のサポート



## ! ProLiantサーバーの信頼性をNAS専用機にも

StoreEasyは長年培われたProLiantサーバーの技術をベースに開発されています。世界の多くのユーザーに高い評価をいただき利用され続けているサーバーに、NAS専用機のラインアップが加わっています。

企業ユーザーのニーズにこたえて、高信頼なハードウェア、ソフトウェアとともに製品保証は3年間を標準で提供しています。さらに、故障時にはサポートエンジニアが現地では対応するオンサイト保守サポートがついており、いざという時も慌てる必要がありません。

## ! 安心の自動通報サービスと一目でわかるシステム状況

StoreEasyは標準でiLO (Integrated Lights-Out) という先進の機能を備えています。iLOは、ハードウェア上に独立したICチップで構成された診断機能であり、StoreEasyシステムの動作状況にかかわらず常にリモートからアクセスをすることが可能です。

この機能を利用して提供される自動通報サービスにより、ユーザーが気にしなくても、StoreEasy上で何か異常が発生した場合、StoreEasyシステムがHPEサポートセンターに情報を送ります。重大な障害時は、その情報によりHPEサポートエンジニアから連絡し、対応します。迅速な保守対応が可能になるため、システム停止などのリスクが大幅に軽減されます。

iLOは、それ以外にもシステム状況を一目で確認できたり、リモートから電源のON/OFFなどのコントロールができ、StoreEasyを複数台利用されたり、多拠点で利用されるような場合に、大きな安心をもたらす大変便利な機能です。

### 自動通報サービスを標準提供

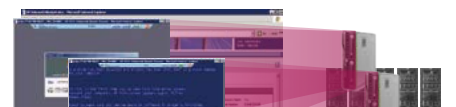
#### iLO専用ポート



ハードウェアに障害が発生するとHPEサポートセンターへ自動通報され、HPEから対応についてご連絡いたします

### iLOなら! システムの状況が一目瞭然!

#### WindowsなどのGUIも



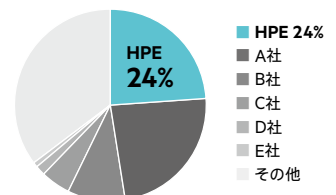
#### OSがハングアップしても

#### 個別サーバーレベル管理

## ! エントリーNASで実績No.1 だから安心

さらに、StoreEasyはエントリーNASストレージ市場で最も多く利用されている製品です。実績のあるHPEハードウェアプラットフォームとWindowsベースの組み合わせに加え、独自のメリットを多数提供しており、多くのお客様に選ばれています。

### エントリーNASストレージの販売台数(2017-2018年)



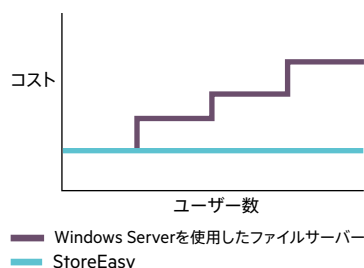
Source: IDC Worldwide Quarterly Disk Storage Systems Tracker - CY18Q1 Japan, NAS, Entry, CY17Q2-CY18Q1

## ② ファイルサーバー専用Windowsで多くのメリット

CAL無制限でコストに優しく、最新バージョンは高性能かつ使いやすい

専用Windowsなのでファイルサーバーとして利用するのに最適に設計されており、コスト・性能・機能の3つの視点からメリットがあり、また、Windowsで共通の使いやすさのメリットも享受できます。

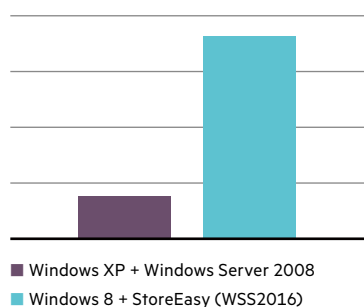
ライセンス費用



### ! NAS専用WindowsだからCALが無制限で使える

Windowsでは、PCなどのクライアントからサーバーにアクセスするためにクライアント・アクセス・ライセンス (通称 CAL) が必要です。普通のWindowsサーバーでもファイルサーバーの機能を利用することは可能ですが、ユーザーが増えるとCALのコストが膨らんでしまいます。StoreEasyなら、ファイルサーバー専用のWindows Storage Serverを採用しており、CALは無制限に使用可能、ユーザーが増加しても、心配なくご利用いただけます。

ファイル転送速度の比較



### ! 最新クライアントに対応し性能も大幅アップ

ファイルサーバーが遅くなって困っていませんか？

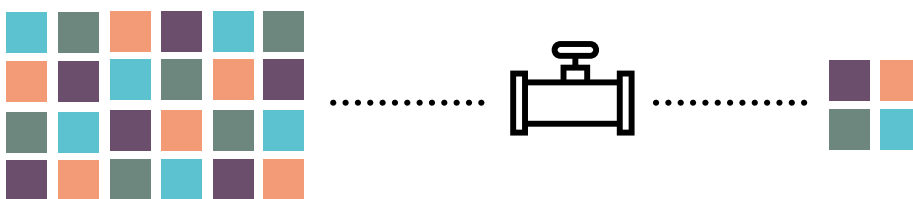
StoreEasyは、最新のWindows Storage Server 2016を搭載しており、Windows 8、10などの最新のクライアントと互換なプロトコル SMBバージョン3により、ファイル転送速度が大幅にアップしています。これからWindows 10 PCの導入が進んでいく中、今から最新のファイルサーバーを導入、移行しておくことで、余裕をもって対応することができます。

### ! 重複排除で効率よく大容量を保存

ファイルサーバーの容量が不足して困っていませんか？

StoreEasyの重複排除を利用すれば、一旦保存したデータを細分化し「ダブリ」を取り除くことにより、元の半分程度※に容量を削減することが可能です。長期保管やバックアップなど、コストを抑えて大容量を保管したい場合、重複排除が大変有効です。

### 💡 平均 50-60%※容量削減

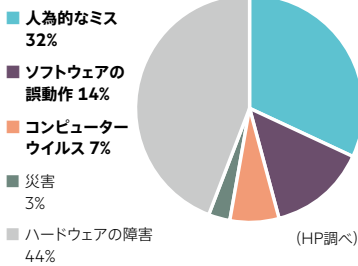


※ HPEの社内検証結果に基づく参考値。容量削減効果は個々のデータにより大きく異なります。

### ③ バックアップもバッチリ

共有ファイルは大事な財産 —  
豊富なバックアップソフトが使えるデータをしっかり保護

データ消失の原因



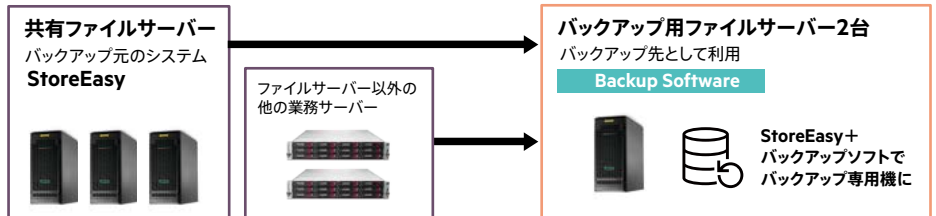
データがなくなって困ったことはありませんか？バックアップはちゃんと取られていますか？ファイルサーバーも、きちりバックアップを取ることはビジネスに不可欠といえます。ファイルサーバーのバックアップをどうやって取ったらいいのか？またファイルサーバーをバックアップに活用する方法とは？

データ消失といえばハードウェア故障がすぐ思いつくところですが、実際には、それ以外にも人為的なミスやソフトウェアが原因の場合もかなり多いのです。バックアップ以外に、これら複数の原因に対応できる方法はないのです。

#### ！ ファイルサーバー2台セットでしっかりバックアップ

独立した機器にしっかりバックアップされることをお奨めします。StoreEasyは、バックアップ機としてもご利用いただけます。Backup ExecやARCserve UDP、AcronisなどWindowsでサポートされている主要なバックアップソフトウェアをStoreEasy上に直接インストールして、ご利用いただけます。そのため、1台のStoreEasyをバックアップ専用機として動作させることができます。

複数ファイルサーバーのバックアップを1台にまとめて取ることで手間をかけず効率よく管理することができます。重複排除機能を利用することで、元のファイルサーバーより少ない容量で対応できます。さらに、バックアップ用のStoreEasyは、ファイルサーバーに限らず、他の業務サーバーのバックアップ先としても利用できますので、様々な環境において、バックアップ機としてご利用いただけます。



#### ！ Azureクラウドへのバックアップにも対応

StoreEasyはWindowsの機能を活用し、Microsoft Azureクラウドへバックアップすることも可能です。Azureクラウド上にRecovery Vaultを作成し、StoreEasyにAzureバックアップエージェントをインストールします。あとはバックアップを設定するだけで、自動的にクラウド上にデータがコピーされます。日々のバックアップは差分データだけが送られます。

クラウドへのバックアップは、一般のネットワーク経由となるため、バックアップの容量や時間・頻度に制限が出る場合があります。またフルボリュームなど大容量のリカバリは困難な場合があります。

上述のバックアップ専用機とあわせて構成し、クラウドへのバックアップは災害対策や長期アーカイブなど2次バックアップの用途としてご利用いただくことを推奨します。





## ④ かんたん導入、あんしん運用

すぐに使えて、ユーザーやセキュリティもきっちり管理

いざ使ってみたらセットアップが大変だったことはありませんか？ また利用していて、セキュリティや日々の管理など不安に感じていませんか？



初期設定ウィザード  
ダッシュボード画面

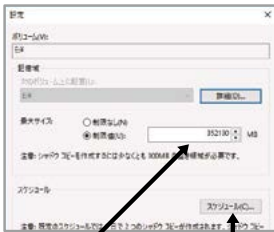
### ! 専用ウィザードですぐ使えて、動作状況も一目でわかる

初期設定のために専用のウィザード画面が用意されています。必要な設定はネットワークの構成も含め、ステップ・バイ・ステップで選択・入力をしていくだけです。箱を開けて設置し、電源をいれてから15分程度ですぐに利用可能です。

また、機器の動作状況がわかるダッシュボードも用意されています。CPU、メモリ、ネットワークの負荷状況、ユーザー数、ストレージ使用率などが一目瞭然で安心して運用できます。

※ 画面はイメージです。

VSSスナップショットの設定



シャドウコピー領域の最大サイズ

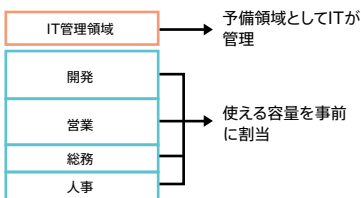
シャドウコピー実施のスケジュール

### ! VSSスナップショットで過去のデータも戻せて安心

Windowsの標準機能であるボリューム・シャドウコピー・サービス(VSS)を利用すれば、ある時点のスナップショットデータを頻繁に取得しておくことが可能です。万一大事なデータを消してしまっても、過去のスナップショットデータから取りだして戻すことが可能です。VSSとバックアップを併せて運用するとデータ保護は万全です。

フォルダークォータで運用

ファイルサーバー使用状況内訳

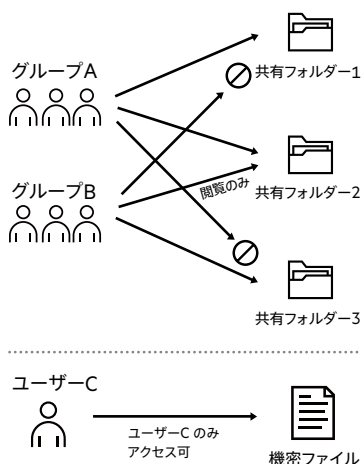


各部門は割当られた容量内で保存可能  
使いすぎの防止ができる

### ! クォータ機能を使って部署ごとの使用量を最適管理

フォルダークォータにより、異なる部署ごとに使用できる最大容量を設定しておくことができます。各ユーザーが無秩序に使用しているとすぐに容量は増えていってしましますが、システム上で制限値をもって運用することができるため、全体として予備領域をもって安心して運用することができます。

ユーザーアクセスの設定例



### ! アクセス管理とウイルス対策でセキュリティも万全に

案外甘くなってしまうのがユーザーアクセスの管理です。部署移動などに対応しきれず機密情報がオープンになっていたり、そもそも社内ということでも十分なアクセス設定がされていないかったり、というケースも多いようです。

使い慣れたWindowsエクスプローラーからフォルダーやファイルのプロパティ画面で適切なユーザーのアクセスを設定しましょう。新たな操作方法を覚えなくても十分対応できます。

最近ランサムウェアが猛威をふるっていますが、その他にも新たなウイルスが日々発見されています。StoreEasyは、Windows用のウイルス対策ソフトに対応していますので、必ず導入いただき、最新バージョンで、ウイルス定義ファイルも最新に更新して利用してください。このほか、StoreEasyではシステムソフトウェア用に、定期的にサービスリリースを提供し、セキュリティ強化を図っています。

## ⑤ 豊富なラインアップであらゆるニーズに対応

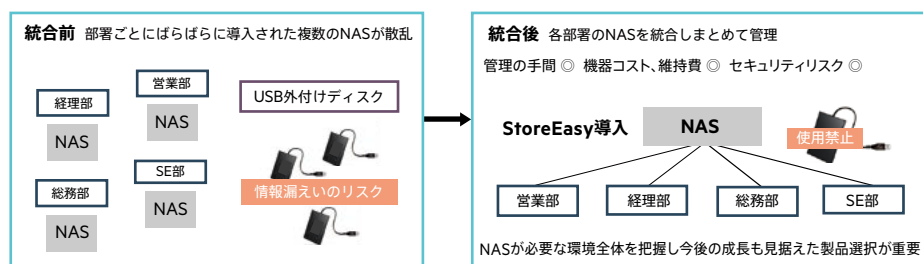
事務所や拠点のエントリーモデルから企業全体の統合環境まで

導入後に容量が足りなくなって困っていませんか？ 価格を抑えて導入したつもりが、複数台になり結果的に高くなるのはよくある話です。規模や成長のスピードに合わせて最適な製品を選択しましょう。ではどのように製品を選択すればよいのでしょうか？

### ！ 安全かつ効率よく利用するには「統合」がキー

製品モデルを選ぶ前に、今の環境がどのようになっているか、また新たなユーザーや利用部署はあるか、見直しましょう。部署ごとに1台ずつ導入していても、いくつも部署があれば、台数は増えていってしまいます。それをばらばらに利用していたのでは、管理も大変ですし、結果的に機器や保守のコストも膨らんでしまいます。

さらにセキュリティリスクが大きな問題です。部署や個人で管理していると、ファイルサーバーの容量が足りなくなってUSBメモリに退避し、それが情報漏えいの大きなリスクにつながります。企業の規模を問わず、情報漏えいは企業の存亡につながる問題となりますので、必ず防がなければなりません。そのためには、USBなどの運用を無くし、一括的に管理する仕組みが不可欠です。







StoreEasyを導入し複数のNASを統合すれば、管理やセキュリティの課題は解消し、最適なサイズの機器を適切なコストで導入し、今後の維持費も下げることが可能です。1台で効率よく利用し、優れた管理機能と相まって、容易に運用することができます。ユーザーアクセスの管理やウィルス対策を適切に行うことで、セキュリティリスクも大幅に下がります。

### ！ 規模やニーズにあわせて最適なモデルを選択可能

豊富なStoreEasyラインアップから最適なモデルを選択いただけます。

小規模環境ならタワー型の1560とラック型の1460で、8TB～16TB/32TBの3つの容量から選べます。統合するなら拡張性に優れた1660、1860をお奨めします。容量は自在に構成できるので、スタートで導入いただき、容量増加にあわせて、後から増強をすることが可能です。容量重視なら1660、パフォーマンス重視なら1860がお奨めです。

さらに企業全体の統合など、SANストレージとともに運用することが求められるような環境向けには、ゲートウェイモデルがあります。SANストレージを保存先として、性能、可用性に優れたファイルサーバーのコントローラー機能を提供します。

低価格小規模環境向け	拡張性に優れた中規模向け
 <p><b>StoreEasy 1460</b> 1U ラック組み込み型 8 / 16 / 32TB 小規模オフィス、拠点等に最適</p>	 <p><b>StoreEasy 1660</b> 2Uラック組み込み型 16 / 32 / 64TB ~ 最大192TB 小さく導入でき、拡張性にも優れたミッドレンジモデル</p>
 <p><b>StoreEasy 1560</b> タワー型 8 / 16TB どこでも置けるエントリーモデル</p>	 <p><b>StoreEasy 1860</b> 2Uラック組み込み型 9.6 / 14.4TB ~ 最大67.2TB 2.5型SASディスク搭載の高性能モデル</p>

Windows Storage Server 2016を標準搭載

# HPE StoreEasy ストレージ モデルと主なスペック



## StoreEasy 1460

## StoreEasy 1560

使い分け	ラックに搭載 コスト重視 小規模環境	オフィス環境で使用 コスト重視 小規模環境
ラインアップ	8TB / 16TB / 32TB 搭載済みモデル	8TB / 16TB 搭載済みモデル
ユーザー数	25-2000	
形状	1Uラックマウント	タワー
プロセッサ	インテル® Xeon® 3104 プロセッサ (1.7GHz/6-core/85w) 標準1CPU、オプションで最大2CPU	インテル® Xeon® 3104 プロセッサ (1.7GHz/6-core/85w) × 1
メモリ	標準 8GB (8GB×1)、全ソケット数24	標準 8GB (8GB×1)、全ソケット数6
ネットワークポート	標準 1GbE × 4、PCIスロットにより拡張可能	標準 1GbE × 2、PCIスロットにより拡張可能
ドライブスロット	標準 3.5型 × 4	標準 3.5型 × 4、ドライブケース装着時 最大8
初期搭載ドライブ	2TB / 4TB / 8TB × 4	2TB / 4TB × 4
最大容量	32TB	64TB
RAID (内蔵ディスク)	10	6、10 (ドライブに依存)
標準保証	3年間翌営業日オンサイトサービス、1年間ソフトウェア電話サポート付き	
OS	Windows Storage Server 2016 Standard Edition	
物理サイズ (W×D×H)	435 × 750 × 43 mm	195 × 481 × 440 mm
重量	16.8kg (最大)	25.0kg (最大)
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*	—*	—*



## StoreEasy 1660

## StoreEasy 1860

使い分け	ラックに搭載 中～大規模環境向け 容量単価重視	ラックに搭載 中～大規模環境向け 性能重視
ラインアップ	16TB / 32TB / 64TB 搭載済みモデル ベースモデル (データドライブ未搭載) パフォーマンスモデル (データドライブ未搭載)	9.6TB / 14.4TB 搭載済みモデル ベースモデル (データドライブ未搭載) パフォーマンスモデル (データドライブ未搭載)
ユーザー数	100-5500	
形状	2Uラックマウント	
プロセッサ	インテル® Xeon® 3104 プロセッサ (1.7GHz/6-core/85w) インテル® Xeon® 4112 プロセッサ (2.6GHz/4-core/85w、パフォーマンスモデルのみ) 標準1CPU、オプションで最大2CPU	
メモリ	標準 16GB (16GB×1)、全ソケット数24	
ネットワークポート	標準 1GbE × 4、PCIスロットにより拡張可能	
ドライブスロット	標準 3.5型 × 12、ドライブケース装着時 最大16 別途OS領域用にSSD × 2	標準 2.5型 × 24、ドライブケース装着時 最大28 別途OS領域用にSSD × 2
初期搭載ドライブ	2TB / 4TB / 8TB × 8 または非搭載	1.2TB / 1.8TB × 8 または非搭載
最大容量	192TB	67.2TB
RAID (内蔵ディスク)	6、10、60 (ドライブに依存)	6、10、60 (ドライブに依存)
標準保証	3年間翌営業日オンサイトサービス、1年間ソフトウェア電話サポート付き	
OS	Windows Storage Server 2016 Standard Edition	
物理サイズ (W×D×H)	446 × 730 × 87mm	446 × 679 × 87 mm
重量	24.5kg (最大)	19.5kg (最大)
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*	—*	—*

\*: エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法によって測定された消費電力を省エネルギー法で定める複合論理性能で除したものです。「-」で示された製品は、CPUの複合論理性能が一秒につき20万メガ演算以上のため、省エネ法の対象範囲に含まれません。

## 製品情報の詳細

HPE StoreEasy ストレージについて、より詳細の製品情報は弊社WEBサイトにてご確認ください。

詳細はこちら

[hpe.com/jp/storeeasy](http://hpe.com/jp/storeeasy)

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。  
記載事項は2018年7月現在のものです。  
本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。  
© Copyright 2018 Hewlett Packard Enterprise Development LP  
JST11349-02

取扱い店印

お問い合わせはこちら

カスタマー・インフォメーションセンター

**0120-268-186** (または 03-5749-8340)

月曜日～金曜日 9:00～19:00

(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、および5月1日お休み)

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1



安全に関するご注意

ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。



Hewlett Packard  
Enterprise

